

会 議 議 事 録

1 会議名	令和7年度 第1回長岡市図書館協議会
2 開催日時	令和7年7月9日（水曜日） 午前10時から午前11時40分まで
3 開催場所	長岡市立中央図書館 2階 講座室1
4 出席者名	<p>（協議会委員）</p> <p>渡邊委員長、淵本副委員、小原委員、三島委員 多田委員、中村委員、野中委員、笹岡委員</p> <p>（事務局）</p> <p>中央図書館 梅沢館長、野村館長補佐、近藤総括副主幹、 平井庶務係長、石井奉仕係長</p> <p>ミライエ長岡企画推進室 鈴木課長、井口主査</p> <p>歴史文書館 広井館長</p> <p>指定管理者 菫澤統括責任者、本宮業務責任者</p>
5 欠席者名	江川委員、山本委員
6 議題	<p>（1）報告事項</p> <p>① 令和6年度長岡市立図書館の活動評価について</p> <p>② 令和7年度長岡市立図書館の運営方針について</p> <p>③ 令和7年度米百俵プレイス ミライエ長岡 互尊文庫の 取り組みについて</p> <p>（2）協議事項</p> <p>令和7年度長岡市立図書館の活動評価（案）について</p>
7 審議結果の概要	<p>議題(1)について</p> <p>報告事項について説明があり、一部修正することとした。</p> <p>議題(2)について</p> <p>事務局提案のとおり決定した。</p>

8 審議の内容	
事務局	<p>(1) 報告事項</p> <p>①令和6年度長岡市立図書館活動評価について (資料1により説明)</p> <p>主な質問・意見は次のとおり</p>
委員	利用登録者の特徴についてお聞きしたい。
事務局	利用登録者は未就園児、小学生あたりが多くなる。中高校生以降は減少するが、子育て中の30～40代ぐらいで利用が増え、その後減少し、高齢者になると増えるという状況。しかし、互尊文庫がミライエにできたことで、中高生の利用が増えてきている。
事務局	<p>②令和7年度長岡市立図書館の運営方針について (資料2により説明)</p> <p>主な質問・意見は次のとおり</p>
委員	現在の地域館の利用状況や課題など教えてほしい。
事務局	旧長岡地域に西・南・北の3館、支所地域に中之島・寺泊・栃尾館がある。なかでも川西地区にある西地域図書館の利用が一番多く、市街地から離れている寺泊地域図書館の利用が少ない状況である。
委員	合併から20年経ち、ユニバーサルサービスとして、合併地域の学校に通う子どもたちへ図書館としてのサービスはどのように考えているか。
事務局	学校配本という形で、各学校で希望があれば、朝読書や読書活動で使えるように、年2回、本を貸し出している。また移動図書館で学校へ行き、本を貸し出している。
委員	学校の統廃合を進める中で、図書館に行きにくい地域の子どもたちに対するサービスの数をしっかり充実させていくところを強く意識して進めていただけるとありがたい。
委員	新刊図書など予約待ちの状態がある本の対応はどうやっているか。
事務局	人気の本は地域図書館でも購入したり、複本を購入するなど、予算も考慮して、その都度検討している。なかには長くて2年の予約待

	ちという本もあるのが現状である。
委員	それでも待つ人がいるということか。
事務局	気長に待つ人もいる一方、すぐに読みたい人は書店で買っていると思う。なかには買って読んだ後に図書館に寄贈してくださる人もいて、それにより少し予約が早く回るときもある。
事務局	互尊文庫は、話題の本をそろえており、半年間貸し出さない運用のため、来館すれば、その場で新しい本がすぐに読める場合もある。
委員	新しい互尊文庫は若い人の利用が増えたと説明があった。前の互尊文庫に来ていた年齢層の高い人は、他の図書館へ分散したなどの傾向はあるか。
事務局	時間別で利用者が決まってきていて、以前に互尊文庫に来ていたと思われる年配の方が午前中に来館し、4時過ぎからは中高生が自習を目的に来るようになっている。
事務局	③「米百俵プレイス ミライエ長岡」について (資料3により説明) 質問・意見なし
事務局	(2) 協議事項 令和7年度長岡市図書館の活動評価(案)について (資料4、4-1により説明) 主な質問・意見は次のとおり
委員	環境が非常に厳しく、特に人口減少の中で、現状維持というのは大変な目標。新潟県立博物館もコロナ前の集客に戻らず、苦労している。そんななかで様々な素晴らしい活動をされており、魅力的だと感じる。来ていただくためには、呼び込む広報活動が重要で、SNSなど利用されてるのもわかるが、広報のほか、この目標を達成するため特に取り組んでいることがあればお聞かせいただきたい。
事務局	互尊文庫で中高生が自習するためにカードを作っていることで登録者数を伸ばしている。これにより全体の登録者数は維持されているようなところがある。

事務局	中央館では、赤ちゃんの健康診断の際にカードを作成するブックスタート事業を行い、生まれたばかりの方も、図書カードを作ってもらえるように努めている。そのほか、小中学生に向けて、図書館見学で来館の際や、移動図書館で学校へ行ったときにカードを作ってもらうなど、登録者数の維持に取り組んでいる。そのほかも、図書館のホームページでの周知や、長岡市のライン、小中学生の「こめぷら」など、様々な媒体を利用して広報を行っている。
委員	マスコミに協力していただくと効果があると思う。いろいろ取り組まれているのでアピール力を高めてほしい。
事務局	魅力的なイベント企画は掲載してもらえるとと思うので努力したい。
委員	利用状況の評価結果のなかで、実登録者数がトイレ改修の休館などの理由もあって見込みに達しなかった。昨年度並みの実績を維持する、という説明があった。今年度もLED工事に伴う休館もあるそうだが、昨年度実績からちょっとプラスアルファした目標値という設定の仕方が、原因と休館日の日数など考えた上で、妥当なものなのかどうかお聞きしたい。
事務局	減少傾向にあり、実際減少していく可能性は高いと思われるが、やはり維持というところに最低限持っていきたいという思いはある。今ほど話があったが、いろいろな事業をやりながら実数を増やしていければというところで、かなり強い思いを込めて維持という目標で設定している。
委員	令和5年度から6年度で登録実数が落ちたことの原因として、トイレ工事による休館があげられているが、もしそれがないとすれば、令和5年度基準で考えたり、休館日の差を見て考えたりして、目標設定していくのが良いのではないか。
事務局	確かに、休館日等を踏まえて考えるということはあるが、LED工事の詳細が決まっておらず、休館日数も未定である中、目標としてはあまり下げたくないということで設定をさせていただいた。
委員長	本県は女性の起業数が非常に低い。長岡でも女性が活躍できるとなれば、人口減少の一因である女性の東京流出にストップがかけられると思う。今回の数値目標は問題ないと思うが、様々な場所で、女性の活躍事例が紹介されており、我々が図書館を通してできること

	<p>は小さいかもしれないが、もう少し女性活躍というところを推せるような部分を意識的にやっていただきたい。</p>
事務局	<p>図書館でも女性の活躍という視点について検討していきたい。</p>
事務局	<p>令和7年度図書館活動評価重点事項評価（案）について （資料5により説明） 質問・意見は次のとおり</p>
委員	<p>目標数字をお伺いしたが、子どもが減少する中で、目標数も維持していきたいと考えられていると思う。今年度については、何か策を示して取り組まないことには、なかなか見えてこない。それぞれの事業の中では、工夫されて取り組んでいると思うが、この取り組みが目標数値に繋がっているかどうかというような評価もなかなか難しいように思うが、そこら辺を見て評価してもらいたい。</p>
委員	<p>関係機関との連携など、図書館からも積極的に住民の方など、いろいろな知識を持っている方をお願いして講演や、関連の企画もできると非常によいと思う。</p>
事務局	<p>読み聞かせのイベントを近代美術館からお話をいただき、展示室で関連絵本のおはなし会を行ったり、移動図書館を美術館に派遣するなど、イベント協力を行っている。</p>
委員	<p>ネットワーク作りの話だが、部活動で地域連携が始まるが、学校拠点でなく、社会的に地域で子どもたちを支えようという動きになっている中で、子どもたちはゲームをやっていて部屋から出ない傾向が強まっており、図書館はもっと遠い存在になりつつある。小学校高学年から中学校の世代は、その傾向が特に強まっているように、ひしひしと感じている。子どもの状況が変化している中で、何ができるかというところは、いろいろな連携先と協議しながらやらないと先細りになるのではと危機感を感じているが、どのような認識か。</p>
事務局	<p>図書館に親に連れて来てもらえる子どももいれば、そうでない子どももいる。図書館に来れない子どもは学校で本を読むしかないと考え。教育センターの先生や学校司書の担当者と相談し、すべての子どもたちに本を届けることができるよう図書館も考えていきたい。学校配本や移動図書館で学校へ回っているが均等にサービスを届けるには、今の人員配置だと難しいのが現状であるが、電子図書</p>

委員	館の導入などが機会の均等につながるのではないかと考えている。
事務局	タブレットを家に持ち帰り、立ち上げると、自由に絵本に繋がるソフトを導入している学校があると聞く。そういうものが市内の学校の子どもたちに提供できるのであれば、やっていただきたい。
事務局	<p>電子図書館のサービスを検討する中で、子どもに読んでもらいたいという部分が、導入の一番大きい理由になってくると思う。</p> <p>評価方法について 【資料5中、重点事項6、7は、一次評価のみとすることを提案】 意見・質問なし</p> <p>協議事項についての質疑を終了。 全体を通しての質問・意見は以下のとおり</p>
委員	<p>長岡の読み聞かせボランティアの質が低いと思うので、質の向上を考えてほしい。</p> <p>図書館を身近なものにしていくためには、大きなイベントではなく、小さなことから人づてに繋がっていくことが必要だと感じる。互尊文庫の展示の仕方が素晴らしく、改めて展示の仕方は大事だと感じた。これからも頑張ってもらいたい。</p>
事務局	互尊文庫は、分類別ではなく、一つの本の周りでテーマが広がるような展示をしている。ジャンルが違うような本も全部置いてあったりする。中央図書館は同じジャンルの他の内容を並べ調べやすくなっている。使いやすい図書館を使っていだければと思う。
委員	おはなし会のニーズが減少している。ニーズを増やす方法はあるか
事務局	子どもの絶対数の減少が要因と考えており、市の公式ライン等で広報を行っているが、なかなか増えないのが現状である。
委員長	ものすごい勢いで子どもが減っており、減るのはもう当然のトレンドである。来館した人たちがどれだけ幸せになれるかという別のポイントで見ていかなければならないと思う。
委員	ボランティアの資質は、もっと向上した方がいいが、多くを望むのは大変であり、強制できない。学校で、教室に入れない子どもたち

<p>委員長</p> <p>事務局</p>	<p>を手伝っているが、その中で、子どもが一人になる時間があり、その時にたまたま本が置いてあると読んでいた。昔、原先生が言っていたことだが、「本は積んでおけばいい、そうするとなにかの拍子に本を手にとっている」。図書館も20冊借りられるので、借りて家に置いておけばいいと思う。暇な時に少しだけ読書する。そうすると自分の好きな本を見つけやすい。私は、絵本の読み聞かせの時に、子どもたちが自分の一生に一冊でもいいから、自分の好きなものと出会ってほしいと思って、今もボランティアをやっている。図書館はそういう場でもある。</p> <p>以上で本日の議事をすべて終了する。</p> <p>令和7年度の第1回長岡市図書館協議会を終了</p>
<p>9 会議資料 別添のとおり</p>	